

市民公開講座

日時 令和5年3月19日(日) 13:00~16:00

会場 パフィオうわじま 1階大ホール(JR宇和島駅となり)

入場料
無料

(駐車場は有料です)



第1部

映画

「いのちの停車場」上映会

時間/13:00~15:00

出演 吉永小百合、松坂桃李、広瀬すず
石田ゆり子、田中泯、西田敏行

監督 成島出 脚本 平松恵美子

原作 南杏子「いのちの停車場」(幻冬舎文庫)

【あらすじ】

東京の救命救急センターで働いていた、医師・白石咲和子は、ある事件の責任をとって退職し、実家の金沢に帰郷する。これまでひたむきに仕事に取り組んできた咲和子にとっては人生の分岐点。久々に再会した父と暮らし、触れあいながら「まほろば診療所」で在宅医として再出発をする。「まほろば」で出会った院長の仙川徹はいつも陽気な人柄で患者たちから慕われており、訪問看護師の星野麻世は、亡くなった姉の子を育てながら、自分を救ってくれた仙川の元下で働いている。ふたりは、近隣に住むたった5名の患者を中心に、患者の生き方を尊重する治療を行っており、これまで「命を救う」現場で戦ってきた咲和子は考え方の違いに困惑するが…。

©2021 「いのちの停車場」製作委員会

第2部

本作品の脚本家 平松恵美子さんをお招きしてのトークショー

時間/15:10~16:00

～「自分らしく生きる」とは～

平松 恵美子 プロフィール

大学卒業後、OL生活を経て大船撮影所内の鎌倉映画塾に第一期生として入塾。在塾中に山田洋次監督の『学校』(93)『男はつらいよ寅次郎の縁談』(93)に参加。卒業後、山田組に助監督としてほぼ全作に加わる。『武士の一分』(06)からは共同脚本も務め、これまで『母べえ』(07)、『おとうと』(10)、『母と暮せば』(15)といった吉永主演作の脚本を担当。それらの作品や『家族はつらいよ』シリーズで日本アカデミー賞優秀脚本賞を9度受賞している。

登壇者

映画「いのちの停車場」脚本 平松恵美子 先生
市立宇和島病院 副院長兼
内科統括科長兼アカデミックセンター長 大木元明義 先生
沖内科クリニック 副院長 沖 良隆 先生

申方
込法

電話またはファックス
令和5年3月1日から受付開始

宇和島市地域包括支援センター(宇和島市役所1階)
TEL 0895-49-7019(直通) FAX 0895-24-1126

主催:一般社団法人 宇和島医師会・宇和島市・市立宇和島病院アカデミックセンター

お問い合わせ:宇和島市地域包括支援センター 電話 0895-49-7019

【受付時間】平日 8:30~17:00